

皮下埋め込み型中心静脈ポート感染のリスクファクターの調査の研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年9月9日～2023年3月31日

〔研究課題〕

皮下埋め込み型中心静脈ポート感染のリスクファクターの調査

〔研究目的〕

皮下埋め込み型中心静脈ポート（CVP）は癌患者の化学療法や、長期の栄養管理の目的に造設され広く普及しています。皮下に埋め込まれているためCVPより長期留置が可能であるが、合併症も報告されています。合併症の一つにポート感染があります。当院におけるCVP造設後ポート感染のリスクファクターを究明します。

〔研究意義〕

究明された感染のリスクファクターは今後感染の予防に有用であります。

〔対象・研究方法〕

2010年6月1日から2021年7月31日まで「ポート造設」或いは「ポート抜去」をキーワードで患者を抽出します。ポート感染群と非感染群の患者背景、造設時の臨床データを比較し、感染のリスクファクターを究明します。

〔研究機関名〕

帝京大学附属病院腫瘍内科

研究責任者：陳 昊

情報管理責任者：陳 昊

〔個人情報の取り扱い〕

情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化します。また発表する際に集計値として結果を取りまとめるため、患者さんの同定はできません。

〔その他〕

本研究において特定の企業との利益相反関係はありません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 陳昊

職名 助手

所属： 帝京大学医学部附属病院腫瘍内科

住所： TEL： 03-3964-1211（代表）〔内線 16288 〕